

モーリタニア月例報告
(2026年8月)

2026年9月
在モーリタニア日本大使館

【内政】

8月19日 野党連合、大統領「3期目」論に明確な反対表明

【外政】

8月 6日 モーリタニア・イラン外相電話会談
8月11日 共和国大統領のコートジボワール訪問
8月13日 米務省：モーリタニア、財政透明性に関する最低要件を満たす。新駐モーリタニア米国大使人事案
8月17日 経済・開発相 チャド大統領を表敬
8月18日 EU-モーリタニアビジネスフォーラム 2027 の開催発表
8月18日 モーリタニア・エジプト外相電話会談
8月19日 モーリタニア・パキスタン外相電話会談
8月19日 中国、モーリタニア軍参謀本部に緊急用テント一式を供与
8月20日 モーリタニア・イエメン外相電話会談
8月20日 モーリタニア・エチオピア外相電話会談
8月20日 セネガル軍参謀総長モーリタニア訪問
8月27日 OIC 次期事務総長に元モーリタニア外相が選出
8月27日 モーリタニア・アルジェリア外相会談
8月28日 防衛相 アンゴラ訪問

【経済】

8月 4日 モーリタニア中央銀行が 2025 年度年次報告書を公表
8月11日 共和国大統領が世界銀行の代表団と会談
8月12日 グリーンアンモニアを活用した肥料産業育成構想
8月13日 内務副大臣補佐官が行政管理のデジタル化についてドイツ代表団と会談
8月14日 小規模金採掘業の事業活動に対する 3%の課税
8月15日 モーリタニア・中国、3 万トン規模の食料貯蔵施設建設で合意
8月19日 米国貿易代表団、10 月のモーリタニア訪問を準備
8月20日 アルジェリア企業、モーリタニア・セネガルへの月 1 回の定期航路を開設
8月20日 アルジェリアからモーリタニアへの建設資材 10 万トン輸送で合意

8月22日 モーリタニア・インドビジネスフォーラムの開催

8月24日 モーリタニア・ドイツ 3,500万ユーロ規模の財政協力協定に署名

【内政】

8月19日 野党連合、大統領「3期目」論に明確な反対表明

(1) モーリタニアの民主野党連合は、ガズワニ大統領の3期目を求める動きを拒否し、大統領任期に関する憲法上の制限を変更又は回避する試みは、平和的な政権交代及び政治的・制度的安定を脅かすものであると警告した。

(2) 同連合は、特に閣僚、選挙で選出された公職者及び政府高官から3期目を求める声が上がっていることについて、公職者が憲法及び法律を擁護する責任と相いれないと指摘した。また、こうした議論が物価上昇、購買力の低下、失業、公共サービスの脆弱さといった経済・社会問題から世論の関心をそらす可能性があるとした。

(3) モーリタニア憲法は大統領任期を2期までと定めているが、国内政治ではガズワニ大統領が3期目に立候補できるよう求める声が高まっている。同連合は、国家の安定は特定の人物の在任期間を延長することではなく、憲法、国家機関及び政権移行に関するルールを尊重することで維持されると強調した。

【外政】

8月6日 モーリタニア・イラン外相電話会談

(1) 両外相は、最近の地域情勢及びイラン・モーリタニア二国間関係の強化について協議した。

(2) アラーグチ外相は、米国及び「シオニスト政権（注：在モーリタニアイラン大による発表）」によるイランへの「違法な攻撃」を受けて進められている、地域の緊張緩和に向けた外交努力について説明した。

(3) 両国は、二国間関係の発展に加え、国際的な場及び国際機関における協力を強化する意向を確認した。

8月11日 共和国大統領のコートジボワール訪問

(1) 8月11日、ガズワニ大統領はコートジボワールを訪問し、アラサン・ワタラ大統領と会談した。両首脳は、二国間協力及びその強化の展望に加え、西アフリカにおける平和と安全の定着をはじめとする地域情勢について協議した。

(2) ガズワニ大統領は、地域情勢及び両国が直面する課題を踏まえ、モーリタニアとコートジボワールの関係は「極めて特別な重要性」を有すると述べ、共通の課題をめぐる国家間の対話と協議が一層必要になっていると強調した。また、両国関係は歴史的なつながりのみ

ならず、相互の信頼及び重要な諸課題に関する見解の一致に基づくものであると述べた。

8月13日 米務省：モーリタニア、財政透明性に関する最低要件を満たす

(1) 8月、米務省は、モーリタニアが同省の定める財政透明性に関する最低要件を満たすようになったと発表した。同省は、モーリタニア当局が政府歳入及び税収の使途を国民に公開しているとした上で、財政の透明性は国民による政府の説明責任の追及を可能にするとともに、市場の信頼及び経済成長を支えるものであると指摘した。

(2) また、数日前には、トランプ米大統領が、公使級外交官のジェシカ・ロング氏を次期駐モーリタニア米国大使に指名する人事案を提示したと報じられている。

8月17日 経済・開発相 チャド大統領を表敬

(1) 8月17日、スレイマン・シェイフ・シディヤ経済・開発相はチャドを訪問し、デビ大統領と面会、ガズワニ大統領からの親書を手交した。同相は面会后、モーリタニアが国際フランコフォニー機関(OIF)事務総長候補として擁立するカンバ・バ元大臣について、「アフリカ全体、とりわけサヘル地域を代表する候補」であると述べ、サヘル地域が国際社会において存在感を高める必要性を強調した。

(2) モーリタニアは本年4月にバ氏の擁立を正式発表し、加盟国への閣僚派遣など支持獲得に取り組んでいる。バ氏は、3期目を目指す現職のルイーズ・ムシキワボ氏(ルワンダ)ら3候補と争っており、次期事務総長は11月15～16日にカンボジアで開催予定のフランコフォニー首脳会議で決定される見通しである。

8月18日 EU-モーリタニアビジネスフォーラム 2027 の開催発表(欧州委員会)

(1) 2027年4月20～21日にヌアクショットでEU・モーリタニアビジネスフォーラムを開催予定。

(2) 再生可能エネルギー・グリーン水素、農業・アグリビジネス、水産、畜産、デジタル化等を重点分野とし、欧州・モーリタニア間の具体的な投資・ビジネス機会の創出を目指す。

(3) Global Gateway/Team Europe の枠組みの下、投資環境や資金調達・リスク分担について協議するとともに、B2B、B2G、B2F 面談を通じて官民の具体的なパートナーシップ形成を促進する。

8月18日 モーリタニア・エジプト外相電話会談

(1) 両外相は、エネルギー、鉱業、水産、農業、物流分野での協力拡大を確認するとともに、第3回合同委員会のカイロ開催に向け、貿易・投資及び両国経済界の交流を促進していく意向を示した。

(2) 両外相は、アラブ連盟及びAUの枠組みにおける連携・協議の強化について意見交換を行い、地域の危機への対応に当たっては、緊張緩和及び政治的・外交的解決を優先するこ

との重要性を確認した。

8月19日 モーリタニア・パキスタン外相電話会談

(1) 兄弟国であるパキスタン・イスラム共和国の副首相兼外務大臣、ムハンマド・イスハーク・ダール上院議員閣下と電話会談を行った。

(2) 会談では、両国間の友好・兄弟関係及び緊密な協力関係の一層の深化に焦点を当てるとともに、双方が共通の関心を有する現在の国際情勢について意見交換を行った。

8月19日 中国、モーリタニア軍参謀本部に緊急用テント一式を供与

在モーリタニア中国大使館は、モーリタニア軍参謀本部 (EMGA) に対し、緊急用テント一式を供与した。引渡式には唐中東・駐モーリタニア中国大使が出席し、同大使とモハメド・ヴァル・ライス・ライス軍参謀総長 (少将) が共同で引渡証書に署名した。

8月20日 モーリタニア・イエメン外相電話会談

(1) 兄弟国であるイエメン共和国のアフラ・アル＝ズーバ外務・移民大臣閣下と電話会談を行った。

(2) 会談では、両国間の強固な友好・兄弟関係及び協力関係を一層深化させるとともに、両国民の共通利益の実現に向け、二国間及び多国間の双方における両国間の調整・協議を強化することに焦点を当てた。また、双方が共通の関心を有する地域・国際情勢について意見交換を行った。

8月20日 モーリタニア・エチオピア外相電話会談

(1) 兄弟国であるカメルーン共和国のルジュン・ムベラ・ムベラ対外関係大臣閣下と電話会談を行った。

(2) 会談では、両国間の良好な友好・兄弟関係及び協力関係について協議するとともに、両国民の共通利益の実現に資するよう、地域・国際的な場における両国間の調整及び協議を強化する方途について意見交換を行った。

8月20日 セネガル軍参謀総長モーリタニア訪問

セネガル軍参謀総長オマール・ウッド海軍大将率いるセネガル軍代表団は、モーリタニア訪問を開始した。同代表団はヌアクショット空港において、モーリタニア軍参謀総長モハメド・ヴァル・ライス・ライス中將の出迎えを受けた。モーリタニア軍参謀本部によれば、今回の訪問は、両国間の二国間軍事協力関係を強化する枠組みの一環として行われるものである。

8月27日 OIC 次期事務総長に元モーリタニア外相が選出

(1) モーリタニア外務・アフリカ協力・在外モーリタニア人省は、27 日にサウジアラビア・ジッダで開催された OIC 第 23 回外相理事会臨時会合において、イスマイル・ウルド・シェイク・アフメド氏が加盟国の満場一致により OIC 事務総長に選出されたことへの深い誇りを表明した。

(2) 同省は今回の選出を、モーリタニアとその国民にとっての荣誉であるとともに、ガズワニ大統領の賢明なリーダーシップと、節度・均衡・信頼の強化を基軸とするモーリタニア外交の成果と位置づけた。また、支持を寄せた加盟国に謝意を示しつつ、新事務総長が OIC の団結強化とイスラム諸国民の利益擁護に向けて職務を全うすることへの期待を表明した。

8月27日 モーリタニア・アルジェリア外相会談

モーリタニアのメルズーグ外務大臣は本日、ジッダで開催された OIC 緊急会合の機会に、アルジェリアのアッターフ外務大臣と会談した。両者は二国間の友好・協力関係の強化方策や共通の地域・国際問題について協議した。会談には、同日満場一致で選出された OIC 新事務総長のイスマイル・シェイク・アフメド氏も同席した。

8月28日 防衛相 アンゴラ訪問

ハナナ・ウルド・シディ防衛・退役・殉教者子女大臣は、ガズワニ大統領の代理として、8月29～30日にアンゴラ・ルアンダで開催される AU 臨時首脳会議に出席するため、ヌアクショットを出発した。同会議ではアフリカにおける紛争予防・解決メカニズムの強化が主要議題となる予定。

【経済】

8月4日 モーリタニア中央銀行が 2025 年度年次報告書を公表

(1) モーリタニア中央銀行 (BCM) は 2025 年度年次報告書を公表した。不確実な国際情勢の中、同報告書は国内経済の回復力と金融システムの近代化の進展を強調している。

(2) 主な成果として、実質 GDP 成長率は 4.0%、インフレ率は 1.6%と安定を維持した。輸出は 12.3%増の約 43 億ドルに達し、ガス輸出の開始という新たな段階を迎えた。貿易赤字は大幅に縮小し、外貨準備高は 22 億 1000 万ドルに増加するなど対外収支は著しく改善した。財政赤字も前年比 75.5%削減と大幅に縮小した。

(3) 全体として、モーリタニアは通貨・金融の安定を維持しつつ、対外ポジションの強化と金融サービスへのアクセス拡大において着実な進展を遂げた年となった。

8月11日 共和国大統領が世界銀行の代表団と会談

(1) ガズワニ大統領は、世界銀行西・中央アフリカ担当副総裁ウスマン・ディアガナ氏率

いる代表团とヌアクショットの大統領官邸で会見した。

(2) ディアガナ副総裁は AU 議長在任中に大統領が主導した取り組みへの評価を示した。具体的には、2030 年までに 3 億人のアフリカ人への電力供給を目指す「ミッション・トランス 300」、農業を通じた雇用創出と食料不安解消を図る「アグリコネクト」、水へのアクセス改善を目指す「水」イニシアティブなどが挙げられた。さらに、モーリタニア担当新事業部長の紹介や世界銀行の組織再編についての説明も行われた。

(3) 約 8 か月前に承認されたモーリタニアとの新パートナーシップ枠組みの実施状況についても意見交換がなされ、取り組みが順調に進んでいることが確認された。

8 月 12 日 グリーンアンモニアを活用した肥料産業育成構想

(1) モーリタニアは、豊富な再生可能エネルギーとグリーン水素の潜在力を活用し、グリーンアンモニアを軸とする新たな産業バリューチェーンの構築を目指している。CWP グローバルのアマン・プロジェクトは 30GW 規模の生産能力を掲げ、年間最大 1,000 万トンのグリーンアンモニア生産を目標としている。

(2) グリーンアンモニアを将来の肥料生産につなげることで、天然ガスに依存しないアンモニア供給源を確保し、国内のエネルギー資源を高付加価値産業へ転換するとともに、地域の肥料供給の安定化に貢献する構想である。

8 月 13 日 内務副大臣が行政管理のデジタル化についてドイツ代表团と会談

内務副大臣（地方分権・地域開発担当）は、ヌアクショットにてドイツ臨時代理大使ライオンハルト・オーリグ氏率いる代表团（GIZ 代表を含む）と会談した。会談では、地方自治体向け行政管理システム「ディワン（Diwan）」が紹介され、同システムによる地方レベルでのデジタル化推進と行政サービスの向上が期待されている。

8 月 14 日 小規模金採掘業の事業活動に対する 3%の課税

モーリタニア政府は、伝統的な金採掘事業の整備に向け、輸出目的の活動に 3%の課税を導入する方針を示した。この措置は貴金属の流通規制を目的とした移行措置の一環であり、近年急増した小規模採掘業における不正行為の抑制を狙いとしている。

8 月 15 日 モーリタニア・中国、3 万トン規模の食料貯蔵施設建設で合意

8 月 15 日、モーリタニア食料安全保障庁（CSA）は、在モーリタニア中国大使館との間で、ヌアクショットに 3 万トンの収容能力を有する食料貯蔵施設を建設するための協定に署名した。同庁によれば、同事業は、食料安全保障の強化、危機対応能力及び緊急時の迅速な対応能力の向上、並びに持続可能な食料主権の強化を目的とするものであり、モーリタニアと中国の友好・協力関係の一環として実施される。

8月19日 米国貿易代表団、10月のモーリタニア訪問を準備

(1) 米国の投資家・企業関係者による貿易代表団が、10月4日にヌアクショット入りし、同5～8日に政府・民間部門との投資及びパートナーシップ機会について協議する予定である。対象分野は石油・ガス、再生可能エネルギー、鉱業、インフラ、農業、水産、デジタル、保健、物流・防衛など多岐にわたる。

(2) 訪問では政府関係者・企業との会合、プロジェクトや工業地帯の視察、分野別ブリーフィング、企業間面談などが予定されている。10月7日にはモーリタニア・米国ビジネスフォーラムを開催し、具体的な投資案件や両国企業間のパートナーシップ形成を促進する計画である。

8月20日 アルジェリア企業、モーリタニア・セネガルへの月1回の定期航路を開設

アルジェリアの国営海運グループ「GATMA」の子会社「CNAN Algérie」は、アルジェリアとモーリタニアのヌアクショット及びヌアディブ、並びにセネガルの首都ダカールを結ぶ定期航路を30日ごとに運航すると発表した。同社によれば、この航路はアルジェリアと西アフリカ諸国との貿易交流の強化を目的とするものであり、アルジェリアの対外貿易を支援するとともに、同国とアフリカ市場との海上輸送網を強化する取組の一環である。また、同社は現在、アルジェリア船籍の船舶9隻を保有しており、うち2隻がコンテナ船、7隻が一般貨物船である。

8月20日 アルジェリアからモーリタニアへの建設資材10万トン輸送で合意

(1) アラブ公共サービス会社（SAPS）とアルジェリアの海運会社（CNAN Algérie）は、アルジェリアからモーリタニアへ建設資材10万トンを海上輸送する協定を締結した。

(2) 両社は、現在の両国間の海上航路を月1回の定期運航とし、貨物輸送の安定化及びアルジェリア産建設資材の対モーリタニア輸出促進を目指している。

(3) 冷蔵コンテナの導入も盛り込まれ、アルジェリアから建設資材、モーリタニアから水産物・冷蔵品を輸送する双方向の貿易促進を図るとしている。

8月22日 モーリタニア・インドビジネスフォーラムの開催

(1) 第1回モーリタニア・インドビジネスフォーラムがヌアクショットで開催された。「モーリタニアとインド、未来を見据えたパートナーシップ」をテーマに、両国の実業家・投資家が多数参加し、経済・投資分野における協力強化を目的として開催された。

(2) モーリタニア側からは、鉱業、再生可能エネルギー、グリーン水素、漁業、農業、インフラ、デジタル経済など幅広い分野での投資機会が強調された。また、資源の採掘・輸出依存型経済から、現地での製造・加工を重視した生産的経済への転換を目指す方針が示され

た。インド側からは、製薬、エンジニアリング、農業、エネルギー、テクノロジーなどの分野における豊富な経験がモーリタニアの経済的潜在力と合致するとして、具体的なプロジェクトへの発展への期待が表明された。

8月24日 モーリタニア・ドイツ 3,500万ユーロ規模の財政協力協定に署名

(1) スレイマン・シェイフ・シディヤ経済・開発大臣とドイツのラインデル駐モーリタニア大使は24日、ヌアクショットにて総額3,500万ユーロの財政協力協定に署名した。協定の内訳は、技術・職業訓練の強化に2,000万ユーロ（施設整備・人材育成・民間連携等）、沿岸地域の生物多様性保護およびブルーエコノミー発展に1,500万ユーロ（海洋資源の持続可能な管理・気候変動対策等）の3件。

(2) 両者はこの協定が両国の強固なパートナーシップをさらに発展させるものとして意義を強調し、ドイツ側はモーリタニアの若者の能力強化と経済・社会開発への貢献に期待を示した。